

平成31年度 学校経営方針

京都市立修学院第二小学校

京都市の目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ 次代と自らの未来を創造する子ども」

～歴史に学び、今を見つめ、持続可能な社会の担い手として、多様な人々と協働しながら、
豊かな人生を切り拓き、未来社会を創造する～

<修学院中学校ブロック 目指す子ども像>

規律正しく、たくましく生き、何事にも積極的に取り組む児童・生徒の育成

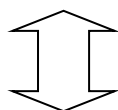
修学院中学校ブロック「目指す子ども像」

★正しい市民感覚を持った市民を育てる。

○将来の展望を持ち、「自分らしく生きる」ことのできる子ども（主体性）

○人や自然を大切にし、他と「共に生きる」ことのできる子ども（社会性）

（平成30年度「修学院中学校ブロックの小中一貫教育構想図」より）



学校教育目標

自分に自信をもち、仲間とともに高めあい、

自分の将来を切り拓いていくことのできる子どもの育成

<今年度の取組の重点>

- 1 子ども一人ひとりが主体的に学ぶ力を伸ばす。
- 2 対話的な学びを通して、コミュニケーション能力を育成する。
- 3 他者への思いやりや寛容な心、自分から生活や地域、社会をよりよくするために
時と場合に応じた正しい判断ができる力を育成する。
- 4 自分の役割や責任を果たしたり、協力して解決したりする力を伸ばし、
自尊感情や自己有用感を高める。
- 5 小中一貫教育を更に推進する。

<めざす子ども像>

- なりたい自分に向けて挑戦する子
- 進んで考え,表現する子
- 仲間を大切にする子
- きまりを守り,楽しく活動する子
- 健康で安全な生活ができる子

育てたい力

- ① 自己肯定感や自己有用感を高め,なりたい自分に近づこうと根気強く取り組む力
- ② 自分の思いや考えを自分の言葉で伝え,相手の話もしっかり聞くことができる力
- ③ 自他の違いや相手の良さを認め,思いやりを大切にして行動する力
- ④ きまりや約束の意味を考え,正しく判断して行動する力
- ⑤ かけがえのない自他のいのちを大切にする力
- ⑥ 自分で健康的で基本的な生活を管理できる力
(起きる時刻・寝る時刻・登校時刻・時間の管理等)

<めざす教職員像>

- お互いの人権を尊重し,互いに支え合う教職員(尊敬と信頼)
- 自ら指導力や人権感覚について資質向上を図るために研究・研修を進める教職員
- 子どもの変化や困りに気づく鋭い感覚を持った教職員
- 組織の一員としての自覚を持ち,積極的に学校運営に参画する意識を持った教職員
- 子どもの命を守りきる教職員

<めざす学校像>

- 保護者・地域に信頼され,子どものために共汗できる学校
- 誰もが認められ,安心して生活できる学校
- 子どもにとって信頼できる,大好きな教職員がいる学校
- 常に教育環境の整備を点検し,改善していく学校